

# Git 共有設定(TortoiseGit)

作成日: 2017/10/26

作成者: 中島

## 更新履歴

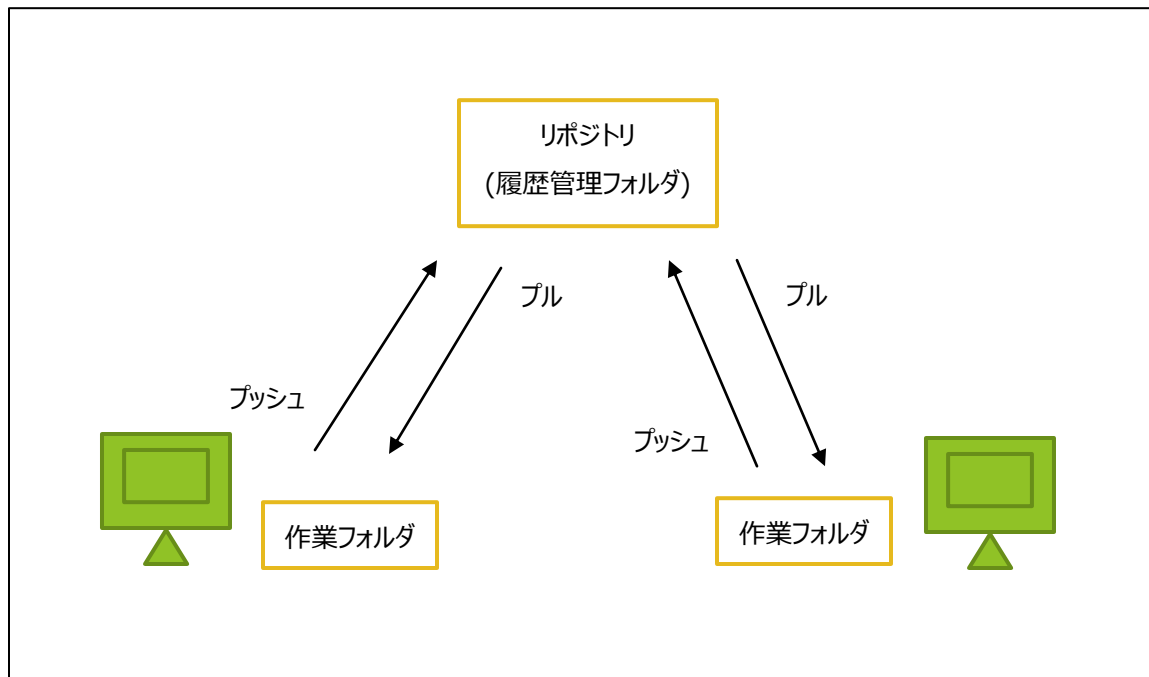
更新日	更新概要	作業者
2017/10/26	・ 新規作成	中島

TortoiseGit で Git 共有設定をする場合、下記のように行ってください。

(※これは開発環境を用意して他のメンバーに連絡する人用です。用意してもらう人はこの設定を行う必要はありません)

## 共有スペース(リポジトリ)の作成

Git の共有設定をする場合、まず「リポジトリ」という履歴を管理するフォルダを作成します。

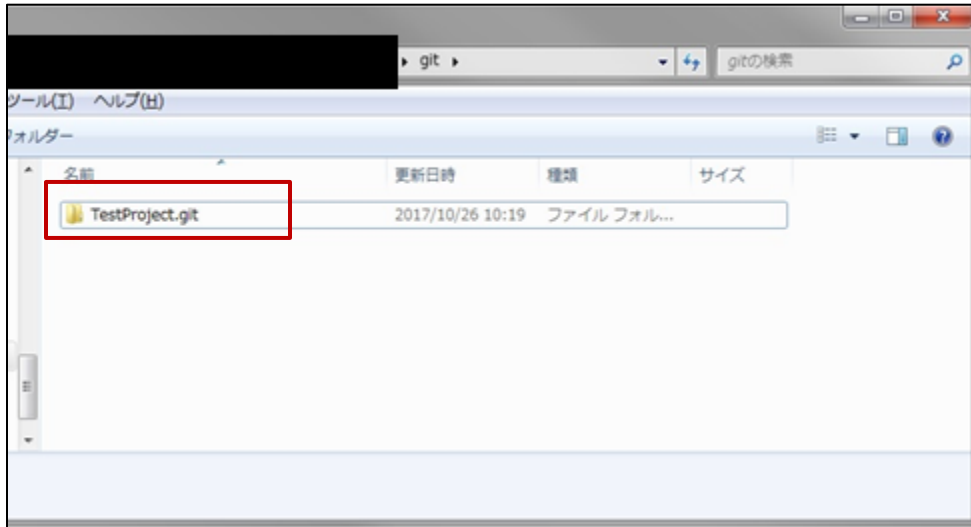


(リポジトリとフォルダのイメージ。作業フォルダは C:\xampp\htdocs\XXX などのフォルダです。  
実体のファイルはリポジトリフォルダに入れても意味がありません)

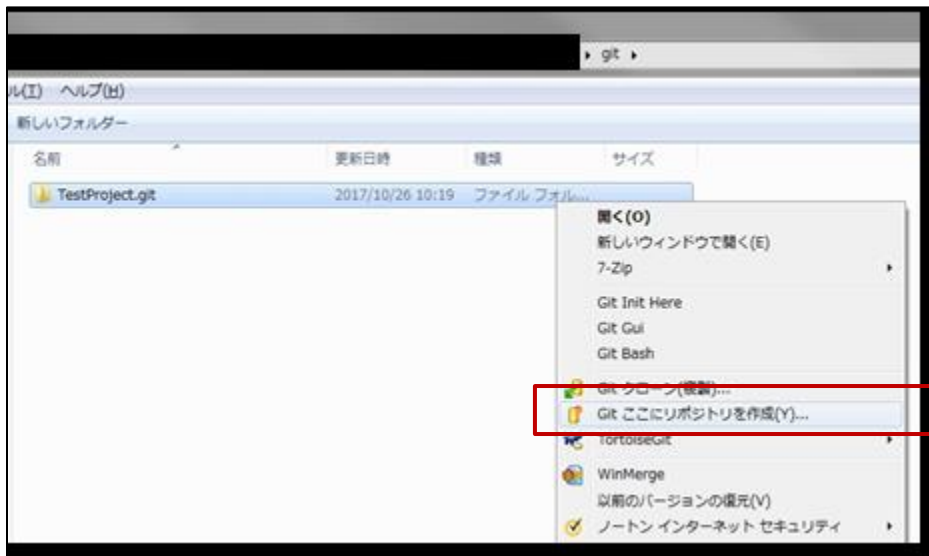
次からリポジトリの作成手順を記載します。

1. リポジトリを作成したい場所に「〇〇.git」の形式の名前でリポジトリのフォルダを作成します。通常は「git」フォルダの下に作成します。

例: Z:¥〇〇案件¥git¥TestProject.git



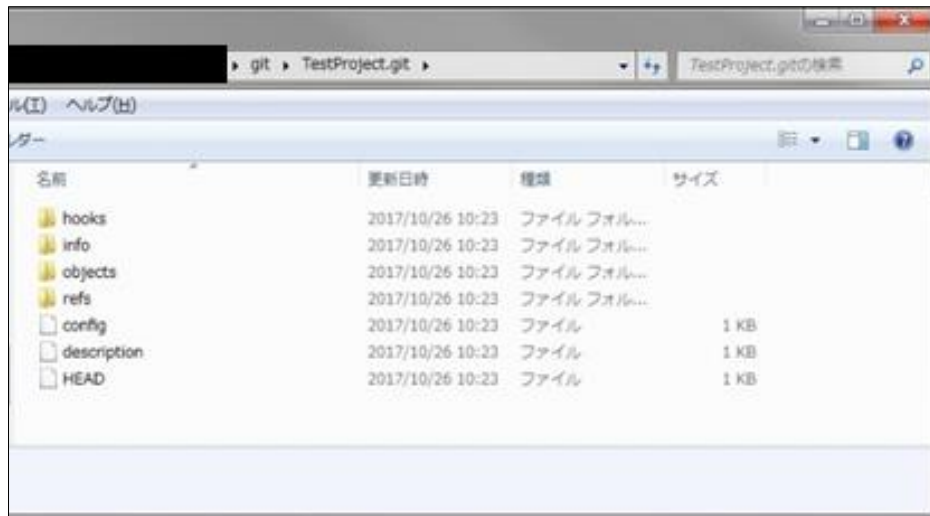
- 作成したリポジトリフォルダを右クリック > 「Git ここにリポジトリを作成」を選択します。



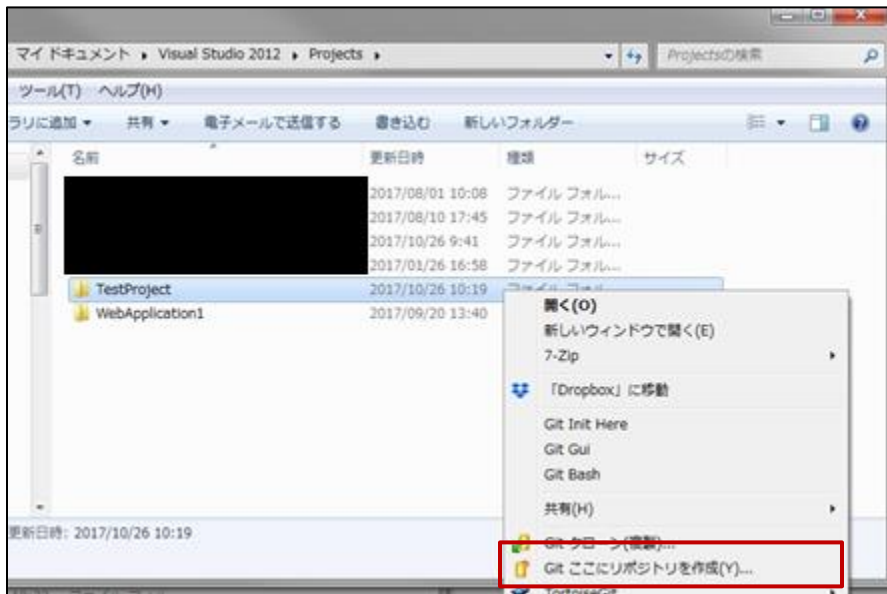
- 「Bare を生成」にチェックして OK します。



フォルダ内に下記のようにファイルが生成されます。



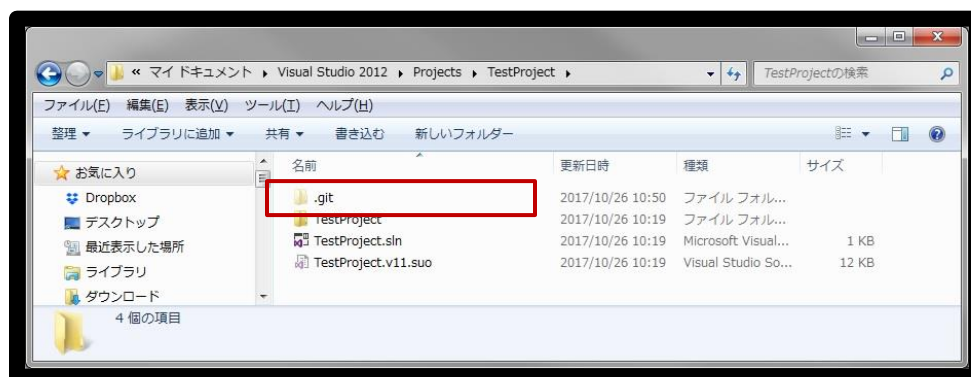
4. 開発中のソリューション(プロジェクト)フォルダを 右クリック > 「Git ここにリポジトリを作成」を選択します。



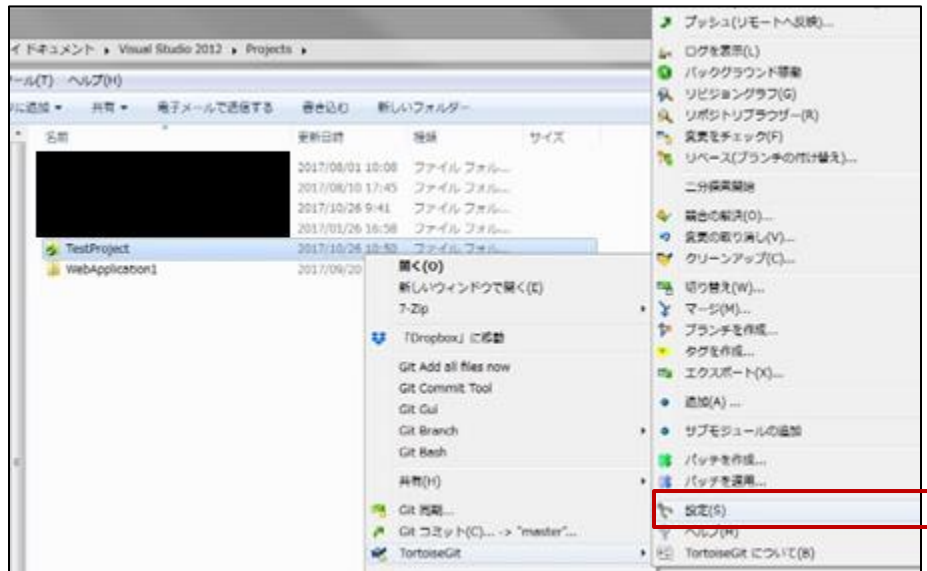
5. 「Bare を生成」のチェックを外して OK します。



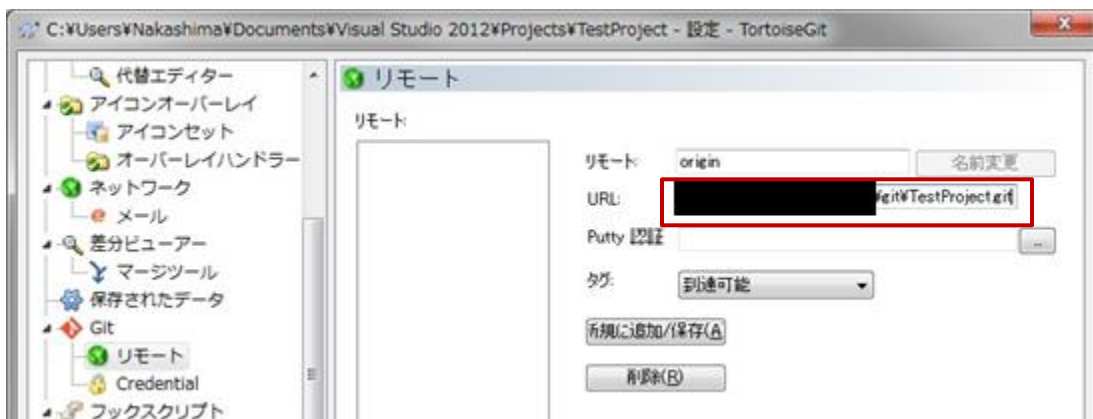
ソリューションフォルダ内に .git フォルダが生成されます。



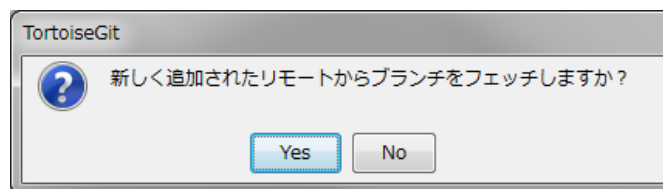
6. ソリューションフォルダで右クリック > 「TortoiseGit」 > 「設定」を選択します。



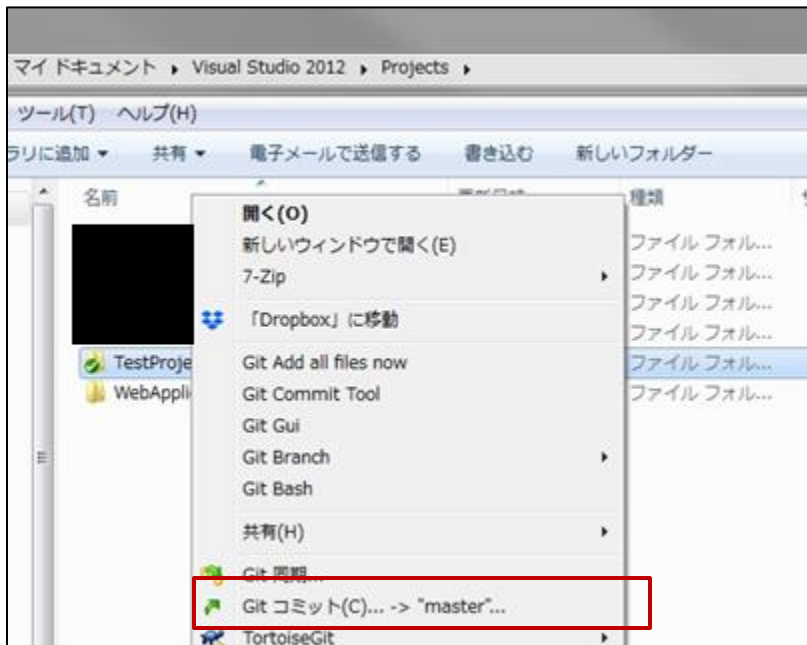
7. 設定画面の「Git」 > 「リモート」を選択し、URL に 1 の TestProject.git フォルダのパスを設定して「OK」します。  
(「リモート」の名前は入力しなければ自動的に origin という名前がつくと思います)



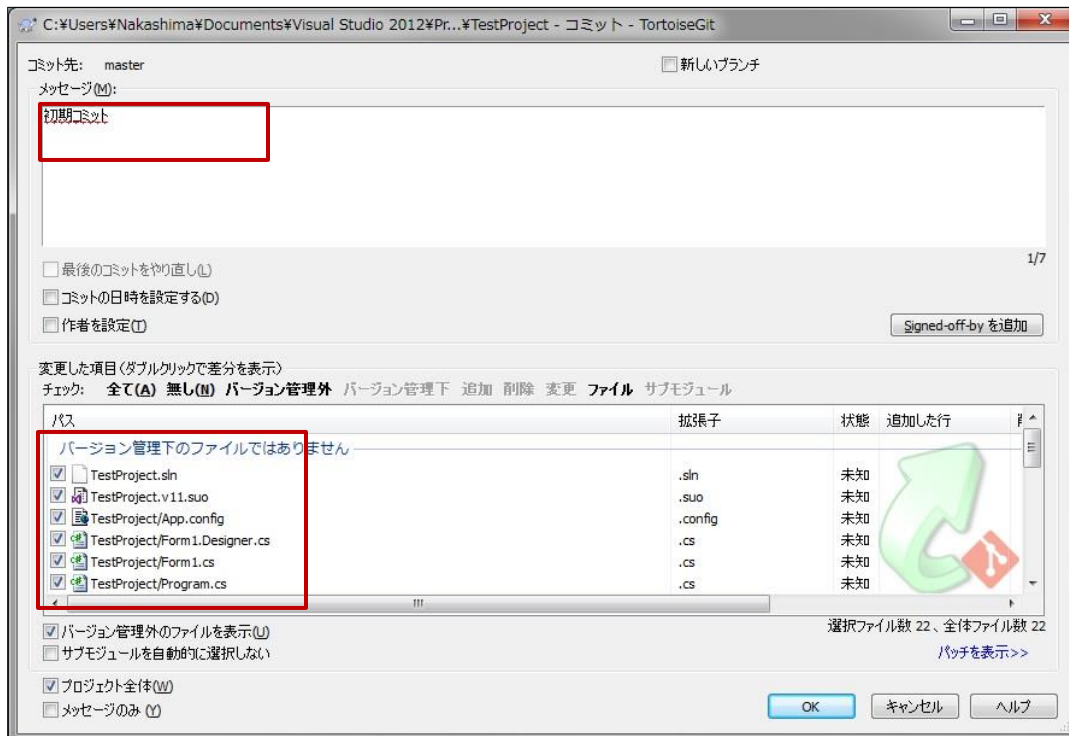
次のダイアログは「No」します。(Yes でも可だと思えます)



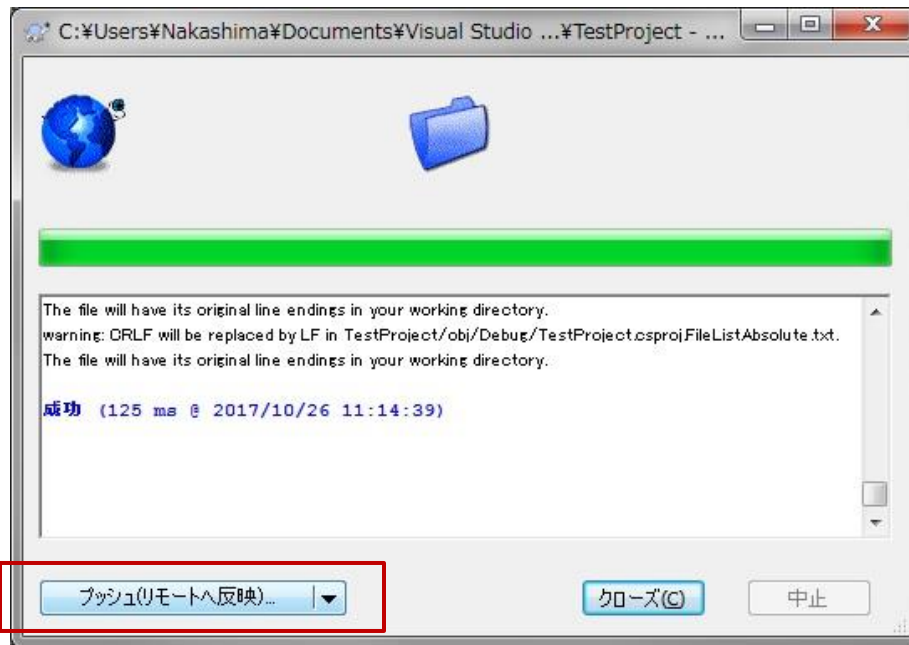
8. ソリューションフォルダで 右クリック > 「Git コミット (C) ...-> "master"」を選択します。



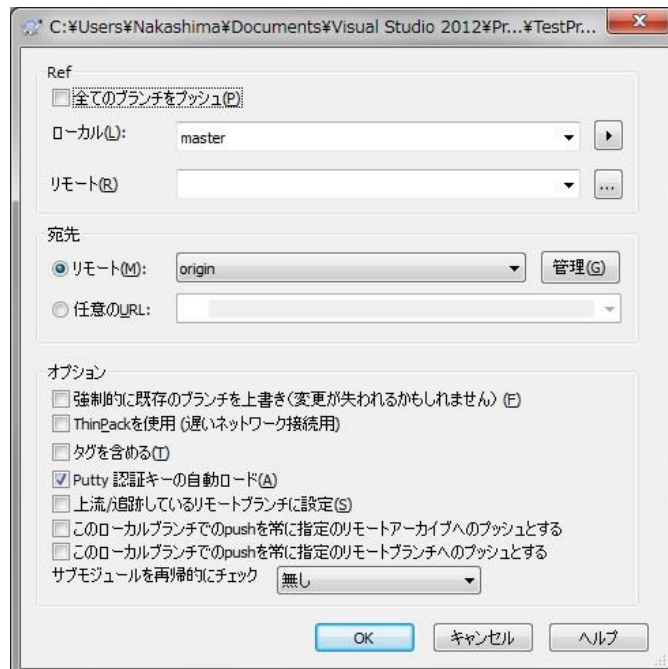
9. メッセージを入力、Git 共有するファイルを選択して OK します。



10. 成功すると下記ようになります。そのままプッシュします。

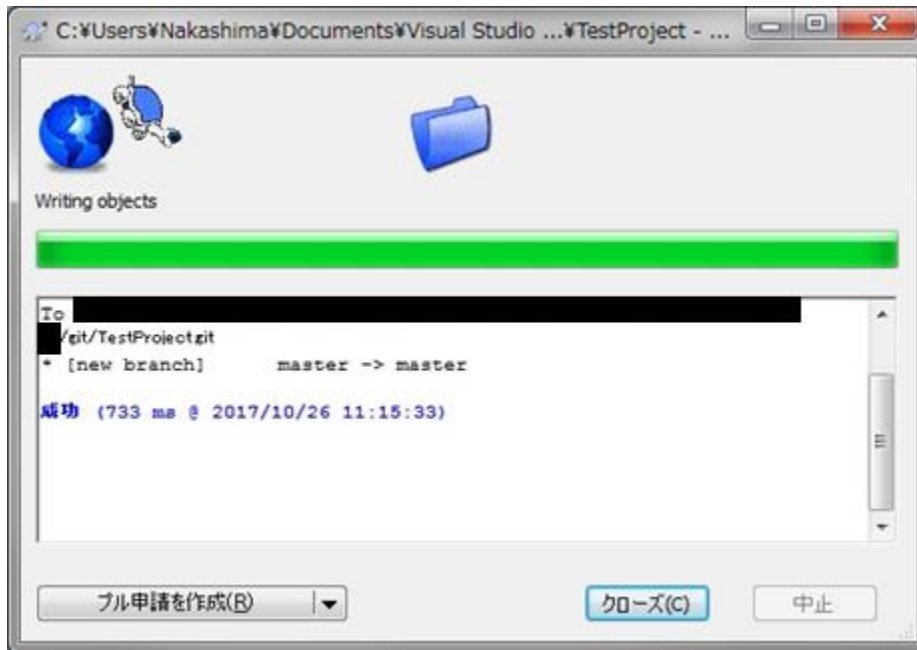


11. そのまま「OK」します。





12. 成功すると下記のようになって設定完了です。



クローンできるかは下記資料の手順で確認します。

Git

・TortoiseGit の使い方